

『曹洞宗全書』初版本の復刻版電子版 DVD-ROM の 販売に関する注意喚起

1979（昭和54）年に惹起した「第3回世界宗教者平和会議差別発言事件」に対する部落解放同盟からの確認・糾弾会の中で、曹洞宗における部落差別の実態として、「差別戒名」「差別凶書」「身元調査」等の問題が明らかとなりました。

これを受けて、曹洞宗では1982（昭和57）年1月より「差別凶書」の回収に取り組んでまいりましたが、その中に『曹洞宗全書・拾遺』があります。

『曹洞宗全書・拾遺』には、差別的な儀礼を修行するよう指導する記載があるため回収を進めております。回収に際しては、同書には歴史的に見て曹洞宗における貴重な資料が含まれていることや、差別の歴史を隠ぺいせずに、二度と差別をしないよう差別解消のための教材とすることが適切との見地から、謝罪文と差別事象に関する解説文を加えた補訂覆刻本と交換する処置をとっています。

しかしながら、著作権保護満了仏教書として、曹洞宗に無断で『曹洞宗全書』初版本覆刻版の DVD-ROM が販売されていることが判明しています。『曹洞宗全書』が歴史的に有益な資料であることは言を俟たないところでありますが、この DVD-ROM には、曹洞宗の発行する上記補訂覆刻版とは異なり、謝罪文や解説文が記載されていないため、新たな差別を生み出す可能性も否定できません。

また、DVD-ROM の販売広告には、「当社が各宗派の賛同をえて行っている DVD 化事業」とありますが、曹洞宗では『曹洞宗全書』の DVD 化に同意したことはありませんし、同意する予定もありません。曹洞宗では、DVD-ROM 販売会社に対して、『曹洞宗全書』初版本覆刻版電子版 DVD-ROM の販売中止を求めており、現在協議しております。

各位には、かかる経緯をご承知おきいただき、曹洞宗の差別解消と人権啓発の取り組みに対し、一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

曹洞宗寺院ならびに関係者各位

2016（平成28）年10月1日

曹洞宗人権擁護推進本部